

News Release

各位

2019年6月17日

会社名 不二ライトメタル株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 晋

I M A（国際マグネシウム協会）での優秀賞受賞について

不二ライトメタル株式会社（本社：熊本県玉名郡長洲町、以下「当社」）は、International Magnesium Association（国際マグネシウム協会）が選定する2019年度 Award of Excellence（優秀賞）を受賞し、5月17日にハンガリー・ブダペストで開催された Annual Meeting（年次総会）で表彰されました。

本賞では、世界中のマグネシウム業界各社の活動に関して、「革新的な技術の提案と実績」を評価する自動車鑄造製品、一般鑄造製品、展伸材製品、製造工程の4部門と、「環境への貢献」を評価する環境部門の計5件が表彰されます。今回、世界各国からの応募に対し、当社が以下のテーマにより、日本からは唯一の受賞となる、展伸材製品部門の優秀賞を受賞しました。

（（一社）日本マグネシウム協会の推薦により、当社と㈱日本医療機器技研が共同で提案し、本賞を受賞しました。）

テーマ：「Development of magnesium alloy tube and development of bioabsorbable scaffold for coronary」
“マグネシウム合金管材及び冠動脈用生体吸収性スキャフォールドの開発”

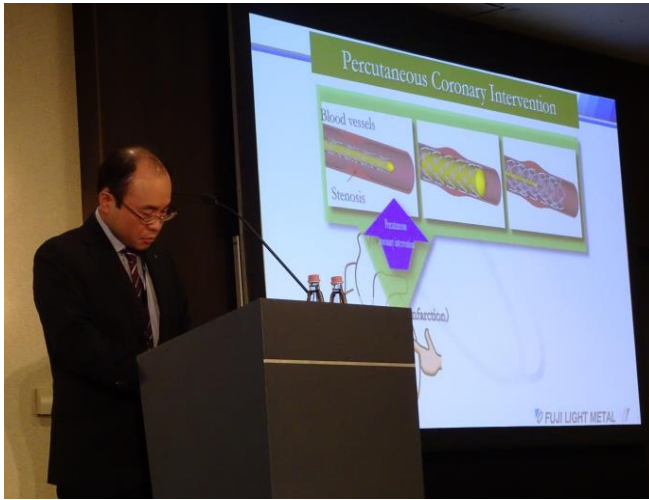
冠動脈の狭窄や閉塞によって引き起こされる虚血性心疾患は、心筋への血液の供給を妨げる重篤な疾患であり、日本人の死因の第二位に挙げられている心疾患の大部分を占めています。この疾患の治療として、近年では、冠動脈ステント※1を用いた低侵襲性の治療法が広く普及しています。マグネシウム合金を使った生体吸収性スキャフォールドは、治癒過程を経て体内で吸収分解されるため、術後の有害事象を回避するのに効果的であり、抗血小板薬服用期間の短縮、再治療における選択肢の拡大に寄与すると期待されます。

当社は、共同開発先の㈱日本医療機器技研と共に、マグネシウム合金を使った生体吸収性スキャフォールドの早期実用化を推進して参ります。

※1 冠動脈ステントについて

狭窄・閉塞した冠動脈に対して管腔内部から拡張・支持する網目状金属からなる医療機器。治療後に生体吸収され、人体に溶けて消失する「生体吸収型の冠動脈ステント」＝「生体吸収性スキャフォールド」





当社の研究員 上田祐規 が、マグネシウム合金管材及び冠状動脈用生体吸収性スキャフォールドの開発動向について、プレゼンを行いました。



5月17日 表彰式の模様。
記念の盾が授与されました。



左から (株)日本医療機器技研 研究員 古閑祐貴氏、(一社)日本マグネシウム協会 会長 山崎一正氏、IMA会長 Todd Olson氏、不二ライトメタル(株) 取締役 井上正士、IMA審査委員長 Susan Slade氏

問い合わせ先

不二ライトメタル株式会社 管理本部 総務人事部 TEL : 0968-78-2111 (代表)